

広 聴 部 会

日 時 令和7年6月2日（月） 時 分～
場 所 第1委員会室

1 街頭インタビューについて（総括）

2 わがまちトークについて

1 申込み状況

2 自治会とのわがまちトーク

3 議場見学会について

1 申込みフォーム

2 チラシ

3 内容

4 市議会だより(205号)広聴のページについて

5 その他

<今後の日程>

・ 6月30日（月） 本会議終了後

広聴部会活動報告

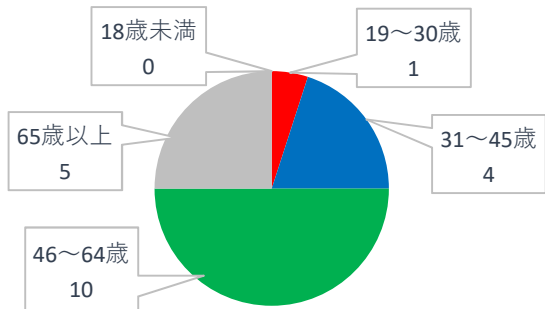
令和7年5月18日（日曜日）13時00分より「JR亀岡駅北周辺」において街頭インタビューを実施しました。亀岡市民を対象とし、調査事項は、「①市議会モニター制度を知っているか。」「②わがまちトークを知っているか。」の2点で、年齢階層ごとに聴取を行いました。それぞれ63人にインタビューを行い、回答結果は、市議会モニター制度を知っている人が20人で3割強、わがまちトークを知っている人は12人で2割程度でした。インタビュー集計の詳細は以下のとおりです。

<インタビュー集計>

●人数…63人

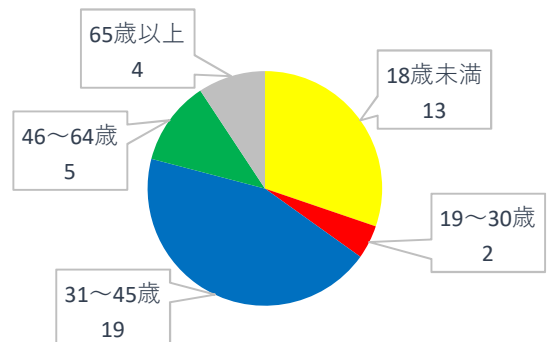
Q1. 市議会モニター制度を知っているか。 （はい…20人／いいえ…43人）

A1. はい



■ 18歳未満 ■ 19～30歳 ■ 31～45歳 ■ 46～64歳 ■ 65歳以上

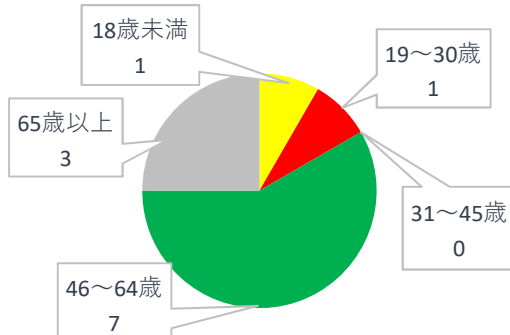
A1. いいえ



■ 18歳未満 ■ 19～30歳 ■ 31～45歳 ■ 46～64歳 ■ 65歳以上

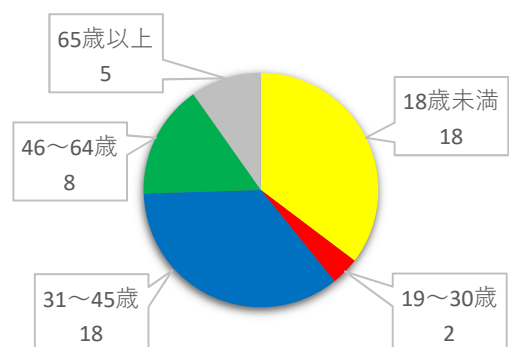
Q2. わがまちトークを知っているか。 （はい…12人／いいえ…51人）

A2. はい



■ 18歳未満 ■ 19～30歳 ■ 31～45歳 ■ 46～64歳 ■ 65歳以上

A2. いいえ



■ 18歳未満 ■ 19～30歳 ■ 31～45歳 ■ 46～64歳 ■ 65歳以上

第三回議場見学会 申込みフォーム
(動作確認用QRコード)





第2回ワクワク議会たんけん！

夏休み子ども議場見学会

参加費無料！



2024年8月17日(土)

時 間 10:00～11:30 頃

受付場所 亀岡市役所8階（議場傍聴席入口）

定 員 子ども25名（保護者同伴要）

※応募者多数の場合は抽選。可否については後日お知らせします

対 象 小学校1年生～6年生

申込み期間

2024年7月16日(火)～8月12日(月)

申込み先

〒621-8501 亀岡市安町野々神8

亀岡市議会事務局

☎0771-25-5051 E-mail: gikai@city.kameoka.lg.jp

お申込みはコチラ➡



— R6 議場見学会〈概要〉 —

○日 時：令和6年8月17日（土）10時～11時30分

○対 象：小学校1年生～6年生

○定 員：子ども25名

○申込期間：7月16日（火）～8月12日（月・振休）

○内 容：議会探検（正副議長室、委員会室、会派控室、事務局）
※議長挨拶、キーワード探し、標柱作成含む
登壇体験（名前、学校名）
※上級生から順番に実施
※議長から名前を呼んでもらう
市議会クイズ（5、6問程度）
質問コーナー（回答者として、広報広聴会議委員以外の議員にも
参加いただく）
アンケート
参加証授与
記念撮影

○担	当：進行次第作成	山木副部会長
（事	前）市議会クイズ作成	松山部会長
	アンケート作成	※前回と同じ
	参加証作成	全員
	標柱作成	全員

○担	当：歓迎挨拶	大塚委員長（傍聴席にて）
（当	日）全体進行	山木副部会長
	市議会クイズ進行	松山部会長、林委員
	登壇体験補助	片山委員
	お礼の挨拶	松山部会長

●議場見学会について（総括）● ※令和6年8月23日広聴部会協議記録一部抜粋

<主な委員意見>

- ・現在は、備品や参加者への記念品等を購入するための予算を計上しておらず柔軟性に欠けるため、今後予算を要求する必要があるのではないか。
- ・低学年の児童と高学年の児童では、知識量や行動意識が異なるため、対象者について今一度考え直した方がよいのではないか。特に市議会クイズは、難易度について配慮する必要があると感じた。
- ・市議会クイズについて、議会から乖離せず、小学生にとって馴染みのある部分を組み込むべきであった。
- ・市民の方々が進んで参加したいと思えるような議場見学会にしなければならない。また、広報についても、どなたでも参加したいと思えるようなよりよい方法を模索する必要があると感じた。
- ・アンケートの内、「Q3. この体験をしてみて」の回答で、「楽しくなかった」が一人もおらず、安堵した。
- ・昨年の反省を活かし、お手洗い休憩を複数回とることができた。
- ・「議会探検（キーワード探し）」の際に、参加者の間で一体感を感じることができた。次回はそういった一体感を広げることができるイベントを取り入れていければよいと思う。
- ・保護者と参加者で目線が違うため、アンケートは別々の内容で作成したほうがよいのではないか。